

檜葉町の避難指示解除にあたって

2015年9月9日
一般社団法人 日本原子力産業協会
理事長 高橋 明男

9月5日、檜葉町の避難指示が解除となり、住民の方々の帰町が始まった。田村市都路地区、川内村の一部に続く3例目となるが、全町避難となっていた地域の避難指示解除は初めてである。政府は、2017年3月までに帰還困難区域を除く全ての地域での避難指示解除を目指しているが、これに向けた大きな前進となることを期待したい。

一方、除染が完了し、電気や水道などのインフラが整備されて今回の解除に至ったものの、小中学校が当面再開しないことをはじめ、生活環境、雇用などまだまだ整備しなくてはならない面が多くあるようだ。

こうした環境整備をできるだけ急ぐとともに、帰町された方々はもちろん、帰町を悩む方々の声にもしっかりと耳を傾け、幅広い支援につなげていくことが必要である。

また、地域の皆さまの安心には、福島第一原子力発電所の廃炉作業の安全かつ着実な進捗が欠かせない。特に放射線に対する不安は根強いことから、放射線管理の徹底とそれらの情報をきめ細かくお伝えすることで、皆さまの安心につながるよう努力を重ねていきたい。

当協会としても、引き続き、地域の皆さまの声を大切に、地元寄り添った活動に継続して取り組んで参りたい。

以 上